

# 年間授業計画

通知表の評価規準

令和8年度

広島市立仁保中学校

第2学年

## 目次

- ・ 評価について
- ・ 各教科の目標と年間授業計画

国 語  
社 会  
数 学  
理 科  
音 楽  
美 術  
保健体育  
技 術  
家 庭  
英 語

# 評価について

## 1. 観点別学習状況 評価の各観点

各教科の目標に照らして、その実現状況を、観点ごとにABCの3段階で評価したもの

A：十分満足できる
B：おおむね満足できる
C：努力を要する

【観点】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に 学習に取り組む態度
-------	-------------	-------------------

## 2. 評定

各教科の目標に照らして、その実現状況を、54321の5段階で総合的に評価するもの

5：十分満足できるもののうち、特に程度が高い
4：十分満足できる
3：おおむね満足できる
2：努力を要する
1：一層努力を要する

## 3. 5段階評価および観点別評価の習得率

5段階評価	習得率		観点別評価
5	90%以上		A
4	80%以上	90%未満	
3	50%以上	80%未満	B
2	20%以上	50%未満	C
1	20%未満		

学年	2学年		教科 目標	学 習 内 容	評 価 規 準
教科	国語科				
月	課	単元名	時数		
4		みえないだけ(詩) アイスプラネット (小説) 書写(硬筆)	11	言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想を持ちながら読みとる。 登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連付けて考えを持つ。	表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分の考えを広げたり深めたりしている。 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。
5		枕草子(古文) 多様な方法で情報を集めよう 漢字1 熟語の構成	18	「枕草子」を朗読し、古文に読み慣れる。四季の趣について、作者の感じ方を読み取る。 社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら自分の考えをまとめ、構成を考えて書く。 熟語の構成について理解する。	「枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとしている。 描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方について、自分の季節感と比較したり、知識や経験と関連づけたりして感想をまとめている。 興味をもったことについて、複数の方法で情報を集め整理構成している。
6		クマゼミ増加の原因を探る (説明) 魅力的な提案をしよう メディアの特徴を生かして 情報を集めよう(情報) 文法への扉 書写(毛筆)	18	説明されている内容を的確に捉え、ものの見方考え方を広げる。 伝えたい事柄をわかりやすく伝えるために説明の仕方考えながら文章を書く。 情報を多様な方法で集めるだけでなく、資料や機器を活用し、効果的に説明する。 メディアの特徴を理解し、メディアとの付き合い方について自分の考えを持つ。 語彙を豊かにする。	事実と考え方の示し方などに着目し、文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えにも着目し、説明のしかたの特徴を捉えている。 目的に応じて文章の形態が変わることに気づいている。 メディアの特徴に興味をもつだけでなく、特徴も理解し、情報を集めたり、注意点について自分の考えをまとめている。 類義語・対義語・多義語に興味をもち語彙を増やそうとしている。
7		短歌に親しむ 短歌を味わう (短歌) 言葉の力(随筆) 言葉① 語彙を豊かに (言葉)	10	短歌の特徴などを知るとともに、五首それぞれに込められた心情や情景を想像する。 目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。 「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 活用のある自立語と活用のない自立語の性質や働きを理解する。 登場人物の言動の意味や展開、表現の仕方などに着目して読み自分の考えを深める。	短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。 学習したことを参考にし、自分の思いが伝わる短歌を作っている。 自分や周囲の人の言葉の使い方を見つめなおし、自らの生活を振り返っている。 文法について関心を持ち理解しようとしている。
9		ヒューマノイド(小説) 字のないはがき(随筆) 言葉② 漢字② 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう	12	登場人物の様子が描かれている表現を抜き出し、読み取れる人柄や心情を考える。 人物の言動や描写に着目して、人柄や心情を捉える。 歌語の働きや種類について理解する。 同音異義語について理解する。 伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるよう工夫する。	登場人物の人柄や思いを文章表現から読み取ろうとしている。 効果的に使われている語句や文章表現に気づき、登場人物の人柄や心情についてまとめている。 言葉の使い方や表記ののしかたに関心を持っている。 伝えたいことを明確に相手に応じて書いている。
10		モアイは語る(論説) 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 「平家物語」から(古文) 「徒然草」から(古文)	12	文章の構成や論の展開に着目し、筆者の主張を捉える。 古文に特有の語句など、意味のわからない語句を挙げ、現代語訳で確認する。	筆者が主張していることを読み取ろうとしている。論の展開を押さえて筆者の主張を捉えている。 歴史的仮名遣いに関心を持ち朗読している。 作品のもつ独特の調子やリズムを生かして朗読し、情景描写や登場人物の言動の意味について考えている。
11		漢詩の風景(漢詩) 君は「最後の晩餐」を知っているか(評論)	18	漢詩に描かれた世界を解説文とともに読み味わい、情景をイメージすることができる。 論理的な構成を考えて話す。相手の意見や考えを尊重しながら目的にそって討論し、自分の考えを広めることができる。	漢詩三編と解説文を朗読し、漢詩独特の言い回しを味わい、詩の情景や人物の心情について考えをまとめ、友達と交流している。 評論という文章の種類について興味をもち、筆者の絵画の見方について読み取っている。 テーマについて自分の考えをまとめ、討論に参加しさらに考えを深めようとしている。
12		立場を尊重して話し合おう 文法への扉② 言葉③漢字③	10	社会生活の中から課題を決めて、適した情報を集めて自分の考えを持つ。効果的に伝わるよう工夫して書く。 話し言葉と書き言葉について理解する。送り仮名を理解する。	自分の立場や意見が伝わるように、根拠を明らかにして書いている。 表現の仕方や、作者の物の見方や感じ方について自分なりの感想を持っている。 用言の活用を理解している。 筆者の物の見方や考え方を捉え、自分の考えを持っている。
1		走れメロス(小説) 文法への扉③ 表現の仕方を工夫して書こう	10	心情を表す語句や、登場人物の言動の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。 付属語について理解する。 場面や気持ちの変化が効果的に伝わるように、文章の構成や描写を工夫して書く。	登場人物の行動や考え方について自分の考え持とうとしている。登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた、「友情」「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。 付属語について関心を持ち、働きや種類を理解している。 自分の体験の中から題材を探し、表現を工夫しようとしている。
2		言語③ 方言と共通語 漢字3 送り仮名 書写	11	方言と共通語の果たすそれぞれの役割について理解する。 抽象的な語句に注意しながら、事例と主張の関係を捉えて内容を理解する。 送り仮名の付け方の基本を理解する。	方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について自分なりの考えを持とうとしている。 事例と主張の関係を捉えて、筆者の見方や考え方を理解している。 送り仮名の付け方に関心を持ち、理解している。
3		一年間の学びを振り返ろう 鍵(詩) 書写	10	一年間の学習について材料を集め、構成や描写を工夫して書く。 言葉の意味を考えながら作者が詩に込めた思いを捉え、自分の考えを持つことができる。	一年間の学習について関心を持って振り返り、より伝わりやすい発表や報告書にしようとしている。 詩の内容に関心を持ち、作者の思いを考えている。
			140	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的な事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
教科	社会科			学習内容	評価規準
月	課	単元名	時数		
4		歴史 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解させる。</li> <li>●交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
5		2節 江戸幕府の成立と対外政策の変化	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、領国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</li> <li>●統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、領国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
5		3節 産業の発達と幕府政治の推移	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</li> <li>●社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</li> <li>●産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
6		第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> <li>●工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
7		2節 欧米の進出と日本の開国	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> <li>●開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化し、江戸幕府が滅亡したことを理解させる。</li> <li>●ヨーロッパでの工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化し、江戸幕府が滅亡したことを理解している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパでの工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>
9		3節 明治維新	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</li> <li>●自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。</li> <li>●明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>

10	4節 日清・日露戦争と近代産業	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。</li> <li>●我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。</li> <li>●議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</li> <li>●我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
10	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野外観察や聞き取り調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。</li> <li>●地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。</li> <li>●地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目させ、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●地域調査の手法を身に付けることで、対象となる地域の特色や課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●野外観察や聞き取り調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。</li> <li>●地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域調査の手法を身に付けることで、対象となる地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
11	第2章 日本の地域的特色	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の①自然環境に関する特色を理解させる。</li> <li>●少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の②人口に関する特色を理解させる。</li> <li>●日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</li> <li>●国内や日本と世界との④交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</li> <li>●①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観させ、理解させる。</li> <li>●日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。</li> <li>●①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目させて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ、それらに関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の①自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>●少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の②人口に関する特色を理解している。</li> <li>●日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>●国内や日本と世界との④交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>●①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し、理解している。</li> <li>●日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
11	第3章 日本の諸地域 1節 九州地方	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●九州地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九州地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
12	2節 中国・四国地方	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●中国・四国地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中国・四国地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

12	3節 近畿地方	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●近畿地方において、②人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近畿地方において、②人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
1	4節 中部地方	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
1	5節 関東地方	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
2	6節 東北地方	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
2	7節 北海道地方	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>●①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>●北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>●北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>●①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
		105	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標		
教科	数学科				
月	課	単元名	時数	学 習 内 容	評価規準
4		式の計算	7	1. 式の計算 2. 式の利用	○文字を用いた式について考えようとしている。 ○文字式の加法と減法、乗法と除法の計算をすることができる。 ○計算の方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できる。
5		式の計算 連立方程式	9	2. 式の利用 章の問題 1. 連立方程式	○文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ○目的の応じて式を変形することができる。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ○連立2元1次方程式を解くことができる。
6		連立方程式	11	1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用 章の問題	○1元1次方程式と関連付けて連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○事象の中の数量やその関係に着目し、連立2元1次方程式をつくることができる。 ○連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。 ○連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
7		1次関数	6	1. 1次関数	○1次関数について理解している。 ○1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。
9		1次関数	12	2. 方程式と1次関数 3. 1次関数の利用	○1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
10		1次関数 図形の性質の 調べ方	12	3. 1次関数の利用 章の問題 1. いろいろな角と多角形	○事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ○1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○平行線や角の性質を理解している。
11		図形の性質の 調べ方	12	2. 図形の合同 章の問題	○平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ○合同な三角形を見だし、平行線や角の性質、三角形の合同条件を基にしてそれら確かめ説明することができる。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
12		三角形・四角形	9	1. 三角形 2. 四角形	○証明の必要性和意味を考えようとしている。 ○三角形の合同条件などを基にして三角形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ○三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。
1		三角形と四角形	9	2. 四角形	○三角形の合同条件などを基にして平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ○正方形、ひし形及び長方形が平行四辺形の特別な形であることを見だし表現することができる。 ○平面図形の性質などを活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
2		確率	10	1. 確率 章の問題	○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
3		データの分布 2年の復習	8	1. データの分布 章の問題 1年間のまとめ問題	○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
			105	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
教科	理科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		[生命] 生物の体のつくりとはたらき	39	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解させる。	【知識・技能】 事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。  【思考・判断・表現】 事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。  【主体的に学習に取り組む態度】 事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5				植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。	
6				消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。	
7		[地球] 地球の大気と 天気の変化	30	地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解させ、身のまわりの大気の状態を認識させる。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いださせる。	
8				霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解させる。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識させる。	
9				気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解させる。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えさせる。	
10		[物質] 化学変化と原子・ 分子	34	大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解させる。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解させる。	
11				物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いださせる。また、物質は原子や分子からできていることを認識させる。	
12				原子や分子を化学式で表すことができるようにする。また、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようにする。	
1		[エネルギー] 電流とその利用	37	2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。また、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようにする。さらに、酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識させ、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づかせる。	
2				化学変化に関する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いださせる。	
3				回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。	
			日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ、静電気と電流には関係があることを見いださせ、真空放電の実験から、電流の正体について理解させる。		
			日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ、直流と交流の違いを捉えさせる。		
			140	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標		
教科	音楽科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	3	明日を向いて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○音色、リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
5		パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	3	翼をください	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○曲想と歌詞の内容との関わりや、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
6		曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	4	アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</li> <li>○音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○曲想を感じ取って、リコーダーの奏法を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
7		曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	3	フーガ短調	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>○音色、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>○曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
9		曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	3	夏の思い出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○歌詞の表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
10		仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	5	クラス合唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○音色、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
11		曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	3	荒城の月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○歌詞の表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
12		曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	3	交響曲第5番「ハ短調」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>○音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>○曲の構成と曲想の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
1		文案に親しみ、その魅力を味わおう	2	文案「新版歌祭文」から「野崎村の段」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>○音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>○義太夫節の声や楽器の音色、表現の特徴と人形の動きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
2		歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	2	歌舞伎「勅進帳」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。</li> <li>○音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>○歌舞伎特有の表現、長唄の節回しなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、自分の生活と関わらせながら我が国の伝統音楽に親しもうとしている。</li> </ul>
3		曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	4	サンタルチア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>○音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</li> <li>○3拍子の雰囲気を感じ取り、強弱を生かした表現の工夫や原語の美しい響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
			35	合計授業時間数	

令和8年度

教科の年間指導計画

広島市立仁保中学校

学年	2学年		教科 目標		
教科	美術科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		・オリエンテーション ・SDGSについて	1	美術の表現と鑑賞、学習の心構えについて確かめる。	○主体的に自分自身を作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
5		『最後の晩餐』鑑賞 遠近感をあらわす	3	・東洋と西洋の遠近の捉え方の違いを理解しながら、身近に遠近法があることを理解する。 ・透視図法を学び、線で色々な形を作図をする。 ・レオナルド・ダ・ヴィンチ作品のリアリティを感じ取り、遠近法を系統立てて理解する。遠近法を用いた作図を学び、立体感のある工業製品や奥行きのある空間を描く。	○東洋と西洋の絵画を鑑賞してそれぞれ使われている遠近法を学び、生活の中での遠方について関心を持つことができる。 ○それぞれの線遠近法を学び、建物や文字を立体的に作図できることを理解することができる。 ○透視図法を活用し、立体感のある平面構成の構成の構想を練ることができる。 ○材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表すことができる。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を目指した作者の意図や工夫を感じ取る鑑賞の授業に取り組むことができる。 ○身の回りの社会的な問題に目を向け、美術的な表現ができる。
6		夢を形にするデザイン	4	・持続可能な開発目標“SDGs”の17個の目標のうちいずれかを達成するための工業デザインを考え、遠近法を用いて作画・着彩する。	
7	3				
9	4				
10		西洋の美術	2	・100年前の西洋美術を学ぶことで、日本が西洋の美術に与えた影響について感じ取る。	○西洋の時代背景と関連づけながら、その時代の美術の特徴を理解することができる。
11		浮世絵から学ぶ江戸の職人技	3	・構成美の要素や彫り・摺りの効果を生かした構想を練り、見通しを持った作業工程の進め方を学びながら、一版多色木版画を制作する。	○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を目指した作者の意図や工夫を感じ取る鑑賞の授業に取り組むことができる。 ○材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表すことができる。 ○版画の仕組みとそれに合わせた表現方法を模索し、作品にいかすことができる。
12	4				
1		季節感のある暮らしを楽しむ (和菓子のデザイン)	3	・和菓子の表現にある季節感や自然物由来の美しさに着目し、自分のイメージする和菓子をデザインする。デザインしたものは、樹脂粘土で模型にし、展示する。	○粘土の特性を理解しながら、モチーフの造形的な特徴をもとに形のイメージをふくらませる。 ○凹凸の程度を工夫し、段階的に立体感を表現することができる。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を目指した作者の意図や工夫を感じ取る鑑賞の授業に取り組むことができる。
2	3				
3	1				
			35	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標	学習内容	評価規準
教科	保健体育科(男子)				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		体づくり運動 保健	10	体ほぐしの運動・体力を高める運動 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。</li> <li>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなど</li> </ul>
5		C 陸上競技 保健	9	フォークダンス(男女共修) ハードル走(男女共修) 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークダンスの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</li> <li>・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど</li> </ul>
6		C 陸上競技 D 水泳 保健	13	ハードル走(男女共修) 平泳ぎ 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。</li> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど</li> </ul>
7		D 水泳 保健	11	平泳ぎ 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。</li> <li>・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど</li> </ul>
9		F 武道 保健	13	なぎなた(男女共修) けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぎなたでは、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。</li> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど</li> </ul>
10		B 器械運動 保健	8	マット運動 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技をすることができる。</li> </ul>
11		B 器械運動 保健	8	マット運動 けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど</li> </ul>
12		C 陸上 保健	7	長距離走(男女共修) けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走では、ペースを守って走ることができる。</li> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>
1		C 陸上 E 球技 保健	7	長距離走(男女共修) ソフトボール けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど</li> </ul>
2		E 球技 保健	10	ソフトボール けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開することができる。</li> <li>・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができる。</li> <li>・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</li> </ul>
3		E 球技 体育理論 保健	9	バスケットボール 運動やスポーツの効果・学び方・安全 けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなど</li> </ul>
			105	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標	学 習 内 容	評 価 規 準
教科	保健体育科(女子)				
月	課	単元名	時数		
4		体づくり運動 保健	10	体はぐしの運動・体力を高める運動 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。</li> <li>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の仲間の学習を援助しようとする事、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする事、話し合いに参加しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
5		C 陸上競技 保健	9	フォークダンス(男女共修) ハードル走(男女共修) 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークダンスの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</li> <li>・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする事、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
6		C 陸上競技 D 水泳 保健	13	ハードル走 平泳ぎ 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。</li> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
7		D 水泳 保健	11	平泳ぎ 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。</li> <li>・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳に事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
9		F 武道 保健	13	なぎなた(男女共修) 生活習慣の健康への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぎなたでは、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。</li> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
10		E 球技 保健	8	ソフトボール けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なバント操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位位置での守備などによって攻防を展開することができる。</li> <li>・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができる。</li> <li>・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</li> </ul>
11		E 球技 保健	8	ソフトボール けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>
12		C 陸上競技 保健	7	長距離走(男女共修) けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走ではペースを守って走ることができる。</li> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
1		C 陸上競技 B 器械運動 保健	7	長距離走(男女共修) 跳び箱運動 けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走ではペースを守って走ることができる。</li> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
2		B 器械運動 保健	10	跳び箱運動 けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</li> <li>・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする事、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
3		E 球技 保健 体育理論	9	ハンドボール 運動やスポーツの意義や効果や学び方や安全な行い方 けがの防止と応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。</li> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> <li>・球技に積極的に取り組むとともにフェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする事、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとする事、仲間の学習を援助しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>
			105	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標		
教科	技術科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		生活や社会と生物育成の技術 さまざまな生物育成の技術	4	①生活や社会を支える生物育成の技術 ②身の回りにおける生物育成の技術 ①作物の栽培技術 ②動物の飼育技術 ③水産物の栽培技術 ④森林の育成技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</li> <li>・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。</li> <li>・作物、動物及び水産物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明することができる。</li> <li>・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明することができる。</li> </ul>
5		生物育成の技術による問題解決	8	①問題解決の流れ ②生物育成計画の立て方 ～なすの栽培～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</li> <li>・生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定することができる。</li> <li>・条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。</li> <li>・育成計画に沿って、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や物の管理・収穫することができる。</li> <li>・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</li> <li>・育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業を決定することができる。</li> </ul>
6					
7		これからの生物育成の技術	1	①生物育成の技術の学習を振り返ろう ②生物育成の技術と私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明することができる。</li> <li>・生物育成の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。</li> <li>・よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
9		生活や社会とエネルギー変換の技術 エネルギー資源の利用	4	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ②身の回りにおけるエネルギー変換の技術 ①エネルギーの利用 ②燃料を利用した技術 ③発電と送電のしくみ ④エネルギー変換効率と省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</li> <li>・自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明することができる。</li> <li>・発電システムは、エネルギーの変換効率だけでなく、稼働率やコスト環境負荷等にも配慮して設計されていることに気付くことができる。</li> </ul>
10		電気の利用	4	①電気エネルギーの特徴 ②光や熱に変換するしくみ ③動力や音・信号に変換するしくみ ④電気回路と回路図 ⑤電気機器の安全な利用 ⑥電気機器の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。</li> <li>・電気エネルギーを、光や熱、動力に変換する仕組みを説明することができる。</li> <li>・電気回路を回路図を使って表すことができ、電気回路の特性や電流の流れを制御する仕組みについて説明することができる。</li> <li>・電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。</li> <li>・工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる。</li> </ul>
11		電気の利用 電子機器のはたらき	4	①音声の伝わり ②電子部品のはたらき ③増幅器・増幅回路のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を安全について知る。</li> <li>・電気エネルギーを、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。</li> <li>・電子機器に利用されている電子部品のはたらきや、利用の仕方がわかる。</li> <li>・増幅回路のはたらきを理解するとともに、増幅器の構成、各回路のつながりが理解できる。</li> </ul>
12		エネルギー変換の技術による問題解決	9	①問題解決の流れ ～非常用ラジオの製作～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懐中電灯に問題点を見いだして、非常時に使用するライトに必要な機能に気付くことができる。</li> <li>・非常時に使用するラジオライトに必要な機能について考えようとしている。</li> <li>・非常時にラジオライトの機能を評価し、改善点を考えることができる。</li> <li>・製作に必要な図を書き表すことができる。</li> <li>・安全で適切な製作、実装、点検及び調整することができる。</li> <li>・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> </ul>
1					
2					
3		これからのエネルギー変換の技術	1	①エネルギー変換の技術の学習を振り返る ②エネルギー変換の技術と私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したりしようとしている。</li> <li>・エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。</li> </ul>
			35	合計授業時間数	

学年	2学年		教科 目標		
教科	家庭科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価基準及び評価方法
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・人間にとっての食事</li> <li>・食品と栄養素</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の役割</li> <li>○毎日の食習慣と健康の基本</li> <li>○食事の役割と調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。</li> <li>・健康に良い食習慣と体づくりの3つの基本について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。</li> <li>・調理の役割を理解し、食事の意味を考える。</li> <li>・食品は栄養学的特質により、食品群に分類されることを理解する。</li> <li>・五大栄養素の体内でのはたらきを理解する。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品と栄養素をつなぐ</li> <li>○栄養素のはたらき</li> </ul>	
5					
6		・中学生に必要な食事	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生の発達と必要な栄養</li> <li>○目で見えて判断へ栄養バランス～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。</li> <li>・1回の食事を目で見えて、栄養バランスが取れているか判断できるようにする。</li> </ul>
7 8	食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常食の調理と地域の食文化</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品と調理</li> <li>○生鮮食品の選択と保存</li> <li>○加工食品の選択と保存</li> <li>○肉の特徴と調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の意義や、おいしさと調理の関係について理解する。</li> <li>・調理の手順と注意点がわかり、実習計画を立てることができる。</li> <li>・衛生と安全に留意し、環境に配慮した調理について理解することができる。</li> <li>・調理用具の正しい使い方を理解するとともに、計量器を使って正確に計量することができる。</li> <li>・加熱調理の種類と特徴を理解し、材料に適した調理ができる。</li> <li>・安全と衛生に留意した調理について理解することができる。</li> <li>・包丁を使うときの注意点を理解し、いろいろな切り方ができる。</li> <li>・生鮮食品の特徴を理解し、目的に応じて選択・保存できる。</li> <li>・加工食品の特徴を理解し、目的に応じた選択ができる。</li> <li>・災害時の食生活について考える。</li> <li>・加工食品を活用して、災害時の食事をつくる。</li> <li>・肉の特徴と選び方を理解する。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○肉の特徴と調理</li> <li>○魚の特徴と調理</li> <li>○野菜の特徴と調理</li> <li>○受け継がれてきた食文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の特徴と選び方を理解する。</li> <li>・野菜の特徴を知り、調理上の性質や取り扱い方を理解する。</li> <li>・地域でとれる食材を知り、それを使う意義と和食の特徴や調理を理解する。</li> <li>・地域で生産される食材の調理を通して、地域の食文化を理解する。</li> <li>・日本の行事食について知り、行事食を生活にいかすことができる。</li> <li>・日本の伝統的食文化を知り、食事には文化を伝える役割もあることを理解する。</li> <li>・地域の食文化を継承して発信していこうとする。</li> </ul>
9 10	生				
11		・献立づくり	4	○1日分の献立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスの取れた1日分の献立を考えることができる。</li> <li>・食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスのとれた弁当の献立を考えることができる。</li> </ul>
12					
1	活	・調理実習	7	○日常食の調理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の適切な取り扱いができ、安全や衛生、環境に配慮し、協力して調理実習ができる。</li> </ul>
2					
3		・持続可能な食生活	2	○持続可能な食生活を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な食生活の実現に向けて、食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている</li> </ul>
			35	合計授業時間数	

学年	2年		教科	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする	
教科	英語科		教科	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする	
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4	1	Unit 0 My Spring Vacation  Unit 1 What can we experience on a trip?	15	クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。 おたがいの予定を知るために、相手の予定について書かれた文章を理解したり、自分の予定を伝えたりすることができる。 これからの予測やおたがいの意志を伝え合うために、相手がある場で判断したことを理解したり、自分の判断を即興で伝えたりすることができる。	[知識] 未来を表すbe going toやwillを用いた文、<showなど+人+もの>、<call+A+B>の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 未来を表すbe going toやwillを用いた文、<showなど+人+もの>、<call+A+B>の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] 留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W)
5	2	Real Life English 1 Grammar for Communication 1  Unit 2 What is local food?	12	ある条件のもとですることを伝え合うために、したいと思っていることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。 さまざまな料理について理解を深めたり、知っていることを伝えたりするために、料理について書かれた文章から事実や考え、理由などを読み取ったり、自分から伝えたりすることができる。	[知識] 接続詞when, if, because, thatを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 接続詞when, if, because, thatを用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] ALTの先生に町の生活を楽しくしてもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)
6	3	Real Life English 2 Grammar for Communication 2  Unit 3 What kind of job are you interested in?	13	読み聞かせの際によりよく伝えるために、文章に込められたメッセージを理解し、聞き手のことを考えて、そのメッセージを伝える音読をすることができる。 自分の将来像や夢について考えるために、大切なことややる必要があることなどについて、文章から理解したり伝えたりすることができる。	[知識] 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、するべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] 将来像や夢などについての考えを整理するために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを伝えたり、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)
7		Real Life English 3 Learning Technology in English Grammar for Communication 3	10	インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[知識] 時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きを理解している。(L) [技能] 時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、仕事についてのインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。(L) [思考・判断・表現] 相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたか考えている。(L・SP)
9	4	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks Unit 4 What is important in a homestay?	12	海外でのホームステイをよりよいものにするために、する必要があることやしないことについて理解したり伝えたりすることができる。 海外でのホームステイをするために、しなければならぬことやしてはいけないことについて理解したり伝えたりすることができる。	[知識] have to、助動詞 must、動名詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] have toや助動詞must、動名詞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでることなどについて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] 海外からの生徒に日本でホームステイを楽しくしてもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W)
10	5	Real Life English 4 Grammar for Communication 4  Unit 5 What design is good for everyone?	12	どのようにしたらよいかを相手に説明するために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインの意義について書かれた文章の要点を読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりすることができる。	[知識] (疑問詞+to)を用いた文や(主語+be動詞+形容詞+that)の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] (疑問詞+to)を用いた文や(主語+be動詞+形容詞+that)の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・SP・W)
11	6	Real Life English 5 Learning Social Studies in English Unit 6 How can we make a good presentation?	12	身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実を理解したり伝えたりすることができる。 身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実や感想などを理解したり伝えたりすることができる。	[知識] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W)
12		Real Life English 6 Grammar for Communication 5 Stage Activity 2	17	状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。	[知識] Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [思考・判断・表現] 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。(L・R・SI・SP・W)
1	7	My School and School Life Let's Read 2 A Glass of Milk	12	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	[知識] 場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。(R) [技能] 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。(R) [思考・判断・表現] 気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。(R・SI)
2		Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? Real Life English 7 Grammar for Communication 6	13	世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、世界遺産などについて説明したりすることができる。 世界遺産の現状について知りこれからのことについて考えるために、世界遺産が抱える問題について書かれた文章の概要を捉えたり、説明したりすることができる。	[知識] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思考・判断・表現] 日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しむことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)
3		Stage Activity 3 Let's Have a Discussion Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	12	自分の好みや要望を伝えながら買い物をするすることができる。 自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるることができる。 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	[知識] Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [思考・判断・表現] 自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べて合っている。(L・R・SI・SP・W)
			140	合計授業時間数	